REX COMICS
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
©NBGI
1
藤村あゆみ
Ayumi Fujimura
REX COMICS
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
1
藤村あゆみ
Ayumi Fujimura

COMMENT

## 藤村あゆみ

AYUMI FUJIMURA

はじめましてこんにちは。藤村あゆみです。
気がつけば第一巻!　はやいです…!
大好きなゲームに、こんなに深い形で
関われていることが未だに夢のようです。
レジェンディアのキャラクター達や世界を、
どうやって描いていけばいいだろう
とたくさん悩みながら漫画を描いています。
ゲームとはちょっと違う「レジェンディア」
楽しんでいただけたら嬉しいです!

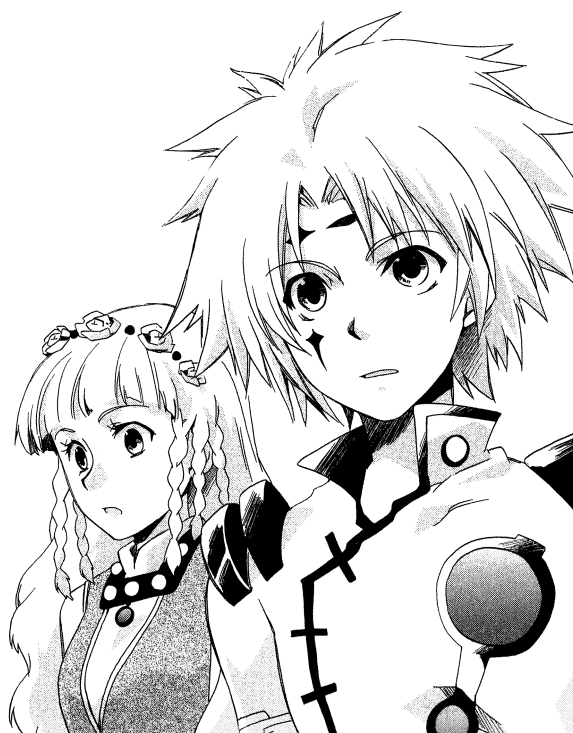
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
1
藤村あゆみ
AYUMI FUJIMURA
©NBGI
REX COMICS
テイルズ オブ レジェンディア
TALES OF LEGENDIA
1
藤村あゆみ

TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
©NBGI
1
藤村あゆみ
AYUMI FUJIMURA

# Contents

海が荒れぬ
ことを知らない
世界――
すべての人々は
陸の上で生きる
ことを余儀なく
されていた
Chapter.1 始まりの光
声を――…
…を
我が声を
聞け
声？
ああ
そっか…
わたし――…
――リイ

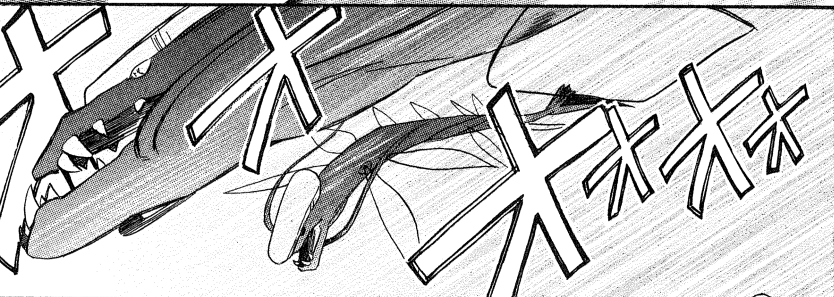
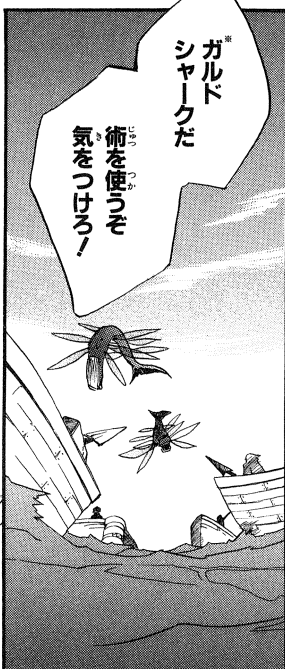
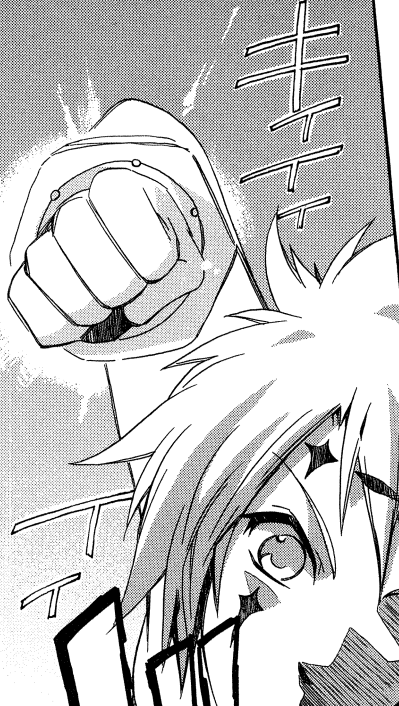
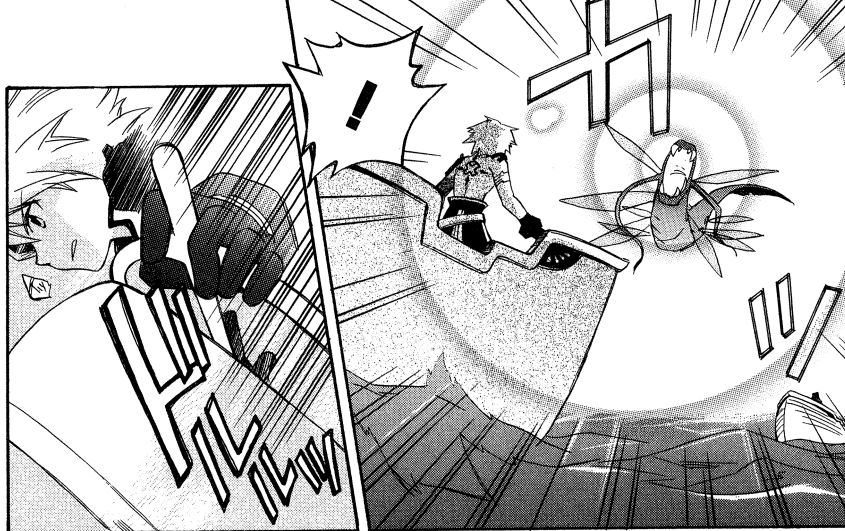
シャーリィ!!!

Chapter.1 始まりの光

オオオォォォ
※ガルドシャーク…空中を浮遊する魔物。呪文を多用する。
※ガルドシャークだ
術を使うぞ
気をつけろ!
数は2匹!
取り囲め!
焦らなくていい
確実に1匹ずつ—!…
ん?

キィィィィ

セネル!!
一気に片づけてやる

カッ
！
ドルルルッ
ズオッ
ドゴ
オッ

はっ
真下につっこんで避けるって…
度胸あるなぁ
またアイツか
すげぇ…なんだアイツ…素手で魔物を!?
なんだ初めてか?

爪術士だ

空気中のエネルギーを取り入れて身体技能を発揮する技
選ばれた者だけが行使できる天恵ってやつだな


あいつがこの街のマリントルーパーになってから俺たちゃ仕事が楽でいいわ
けど俺ぁどーもあいつは気に食わねぇ
住んでる場所もどこから来たのかも言いやがらねぇ
愛想も悪いし…気持ちの悪いガキだぜ

……
ふう…
セネル！

！
指揮官…
ぎくっ
今回も命令無視か！
いつまで勝手な行動を取るつもりだ！
街が無事ならいいだろ

今回はたまたま無事だったからよかったものの一歩間違えば…
3年もやっててまだたまたまかよ

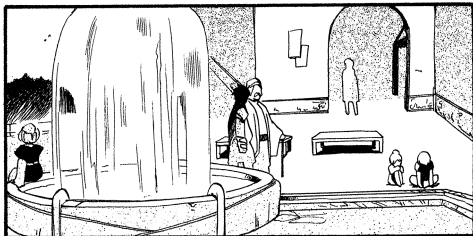
セネル
お前にここは少し退屈なのかもしれないが…

お前ほどの腕前
いずれどこかの国の軍隊に目をつけられるかもしれない
そうなった時のためにも指揮官の指示を正確に聞き冷静に行動する訓練を――…
安心してくれ
俺は退屈なんかしてないし軍隊に入る気もない
おおそうかそれなら…
――ってそういう話じゃない！
おいセネル!!
ブロロロロッ
ブルル――…

カツ…
…！おい
ヘェ珍しいな
金色の髪だぜ
うー…やっぱり出てくるんじゃなかったかなあ

お嬢さん どっから 来たんだい？
えっ わ…わたし ですか？
ぎゅっ
綺麗な 髪だねえ
いやー 長いこと いろんな国のモン 見てきたが 初めてだな
すっ
ひっ⁉
あだだだだだっ
お…
お兄ちゃん！
シャーリィに 触るな

ぱ。
な…なんだ
セネルか
脅かすな
あだだだ
放さんか！
お兄ちゃん！
乱暴は…
行くぞ
シャーリィ
殺されなくて
よかったな
おっさん
ひひ
妹がいたのか
ふーん
聞いたことは
あったけど
見るのは
初めてだなあ

なんでも
難しい病気で
滅多に街へは
出てこないんだとよ

どうしたんだ？
黙って街へ
出てきたりして

ごめんなさい！
…こんなに
目立つと
思わなくて
わたしも…
お仕事を
しようかなって
仕事？

どうしたんだ
シャーリィ
急に…
ううん…
急にじゃないよ
ずっと思ってたの…
お兄ちゃんは危険な
仕事をしてお金を
稼いでくれているのにって

ダメだダメだ！
こんな港町でシャーリィが働けないのはわかるだろ？
潮風だって強いし毎日海水をかぶってる漁師もごろごろいる
さっきのやつだってそうだ
海水は…シャーリィの体に毒なんだから
うん…ごめんなさい
謝らなくていいって
シャーリィもずっと留守番で退屈だろ
今度休みをもらったからその日はどっか連れてくからさ

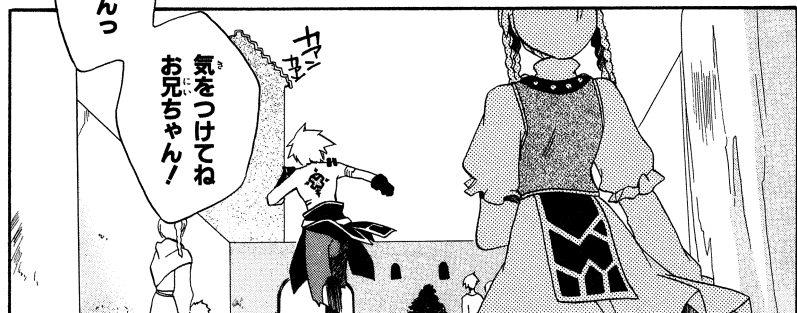
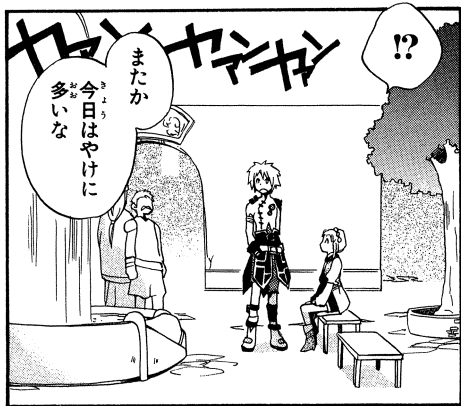
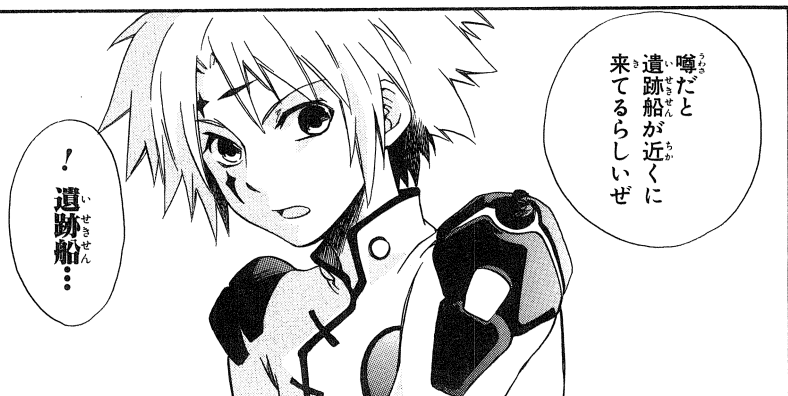
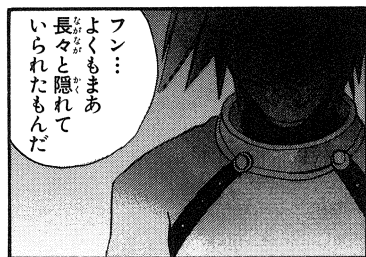
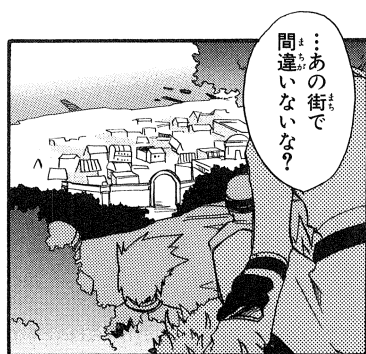
うんっ
ありがとう お兄ちゃん
!?
またか 今日はやけに多いな
仕事だ シャーリィはすぐ家に帰ってくれ …一人で大丈夫か?
う…うんっ
気をつけてね お兄ちゃん!

…あの街で間違いないな?

フン…
よくもまあ長々と隠れていられたもんだ

すまない!
遅くなった
西湾にも出たらしい

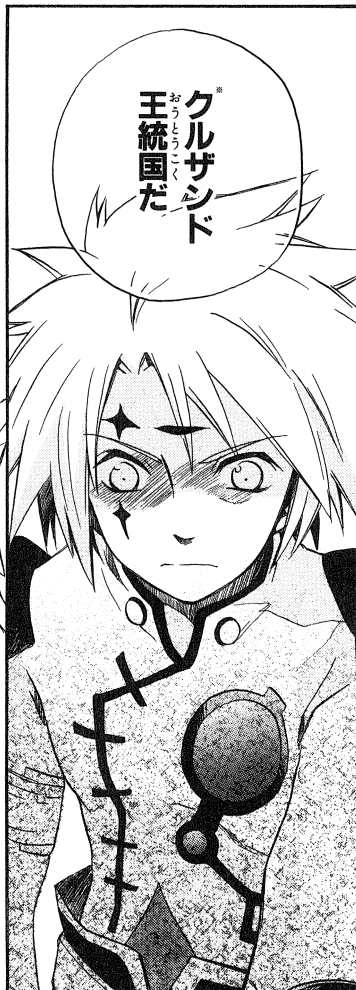
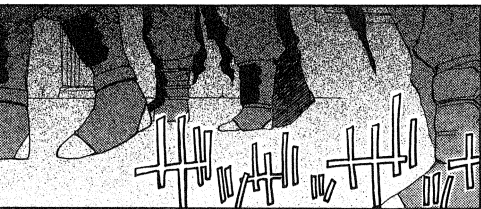
急ごうぜ
にしても今日は忙しいな
整備も間に合わねぇ
ドルルルルッ

噂だと遺跡船が近くに来てるらしいぜ
! 遺跡船…

知らないか？
最近考古学者やトレジャーハンターはもちろん
国や軍までもが注目してるっつー太古の遺物だ
そいつが来てるせいで魔物も興奮してるんじゃねえかって話だ
しかし前より凶暴化しているような…
戦争してる国で軍力を割いてまで遺跡船を手中に収めようと必死なとこもあるってよ
どんなお宝が眠ってるんだか
……
おい急げ！

クルザンド王統国だ※

あまり見ない兵装だったけど紋章がクルザンドの――…

どこだ!?

どこで見た!?

※クルザンド王統国…大陸西部の王制国家。進取の気性に富む。

街の…
入り口で――…
さて――…
楽しめると
いいんだがな
捜せ
必ず生きて
捕らえろよ

金色の髪の娘だ
ォォォォ
わぁ

…おいおい

西地区全域避難命令だ!
マリントルーパーは何してる!沖のやつだろこれ!
わぁぁぁぁっ

間に合わないんだよ!東沖にも何匹も…
お兄ちゃん…

きゃ…

まま

きゃ…

ドォッ

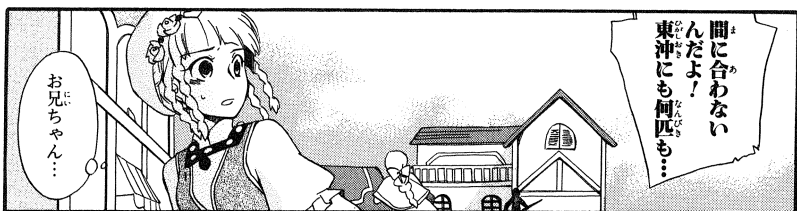
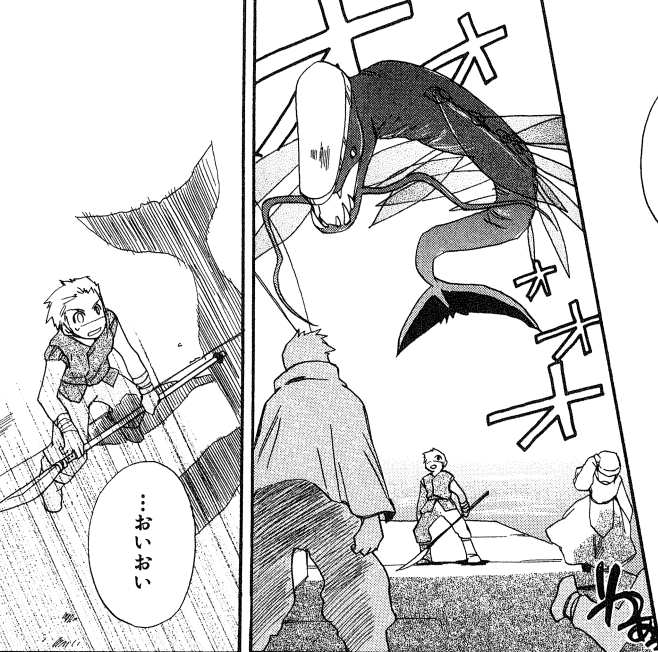
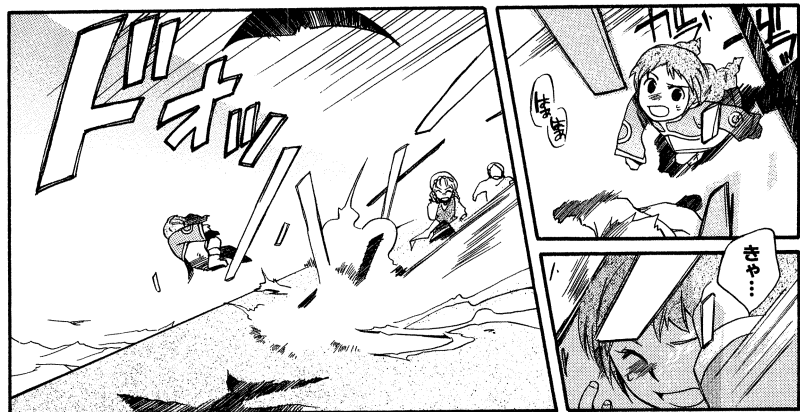
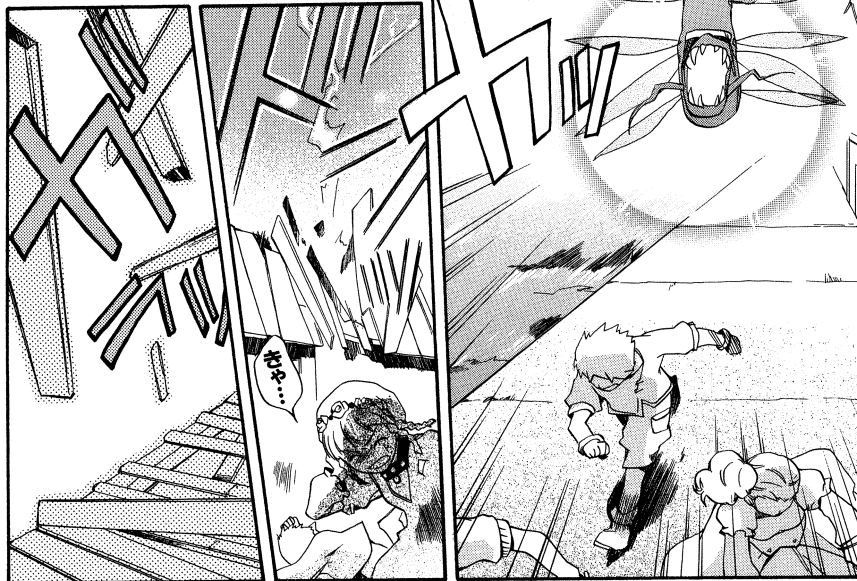
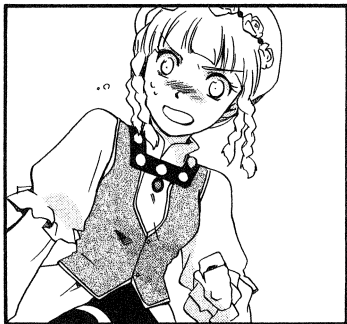
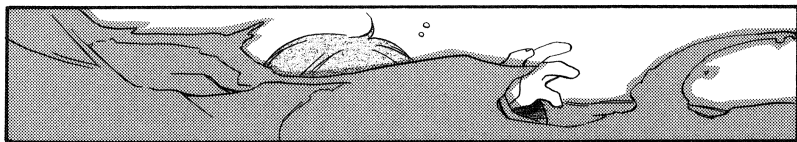
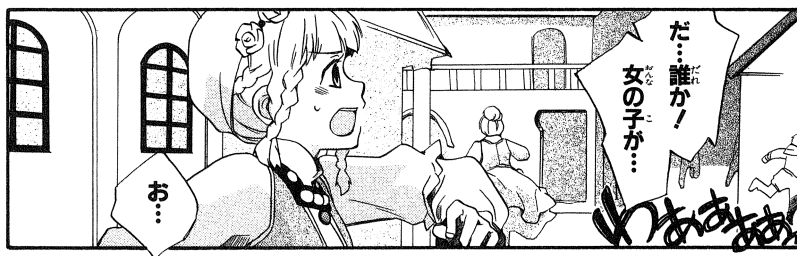
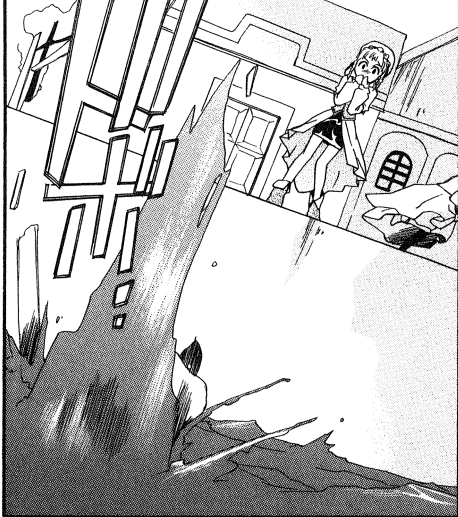
ざぼっ

や…

ザァアッ

だ…誰か！女の子が…

お…

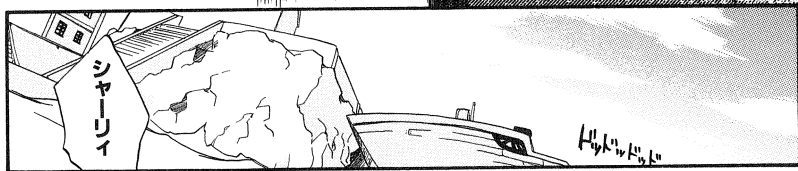
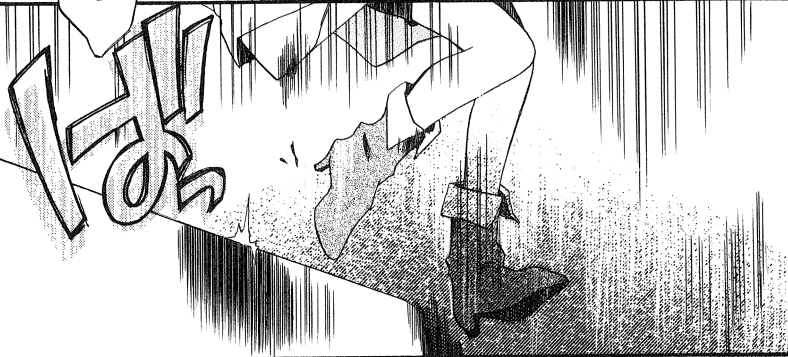
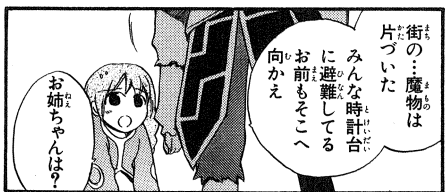
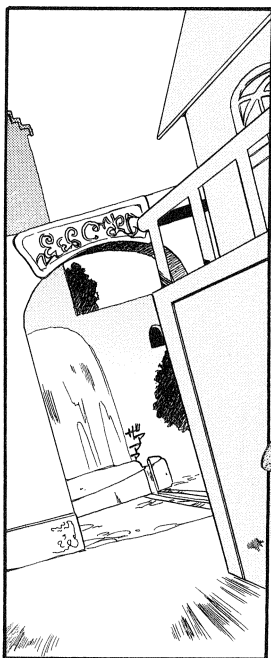
わあああああ

我が意志を
受け入れぬ
愚か者よ！
己が無力を
嘆くがいい！
もうお前には
何もできぬ
何も救えぬ
何も───…

――……っ

ばっ

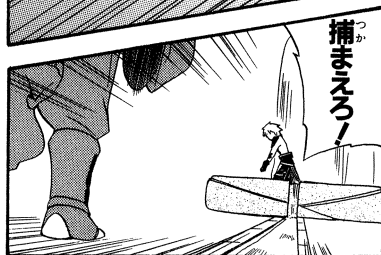
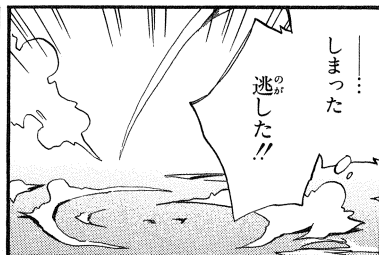
シャーリィ

ドッドッドッド

!!!
シャーリィ！
シャーリィ！
…!!
熱が…!?
う…
はぁっ
はぁ
海に…落ちたのか!?
くそっ
はー
はぁっ
わ…わたしを助けてくれたの…
お姉ちゃん…大丈夫？
死んじゃうの？

シャーリィ…
自分で…!?
街の…魔物は
片づいた
みんな時計台
に避難してる
お前もそこへ
向かえ
お姉ちゃんは?
大丈夫だ
…すぐに
よくなる

バシャ
ザァアアアア
はぁはぁ
待ってろ
シャーリィ
も
もう…大丈夫だ
ちゃぷ…
サラ…
ザァ
コポ…

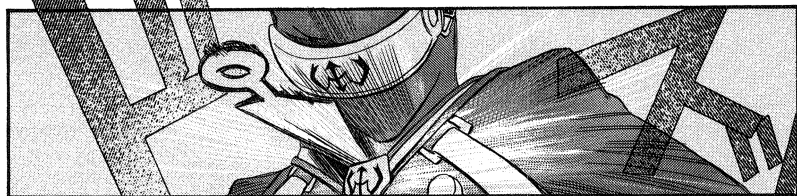
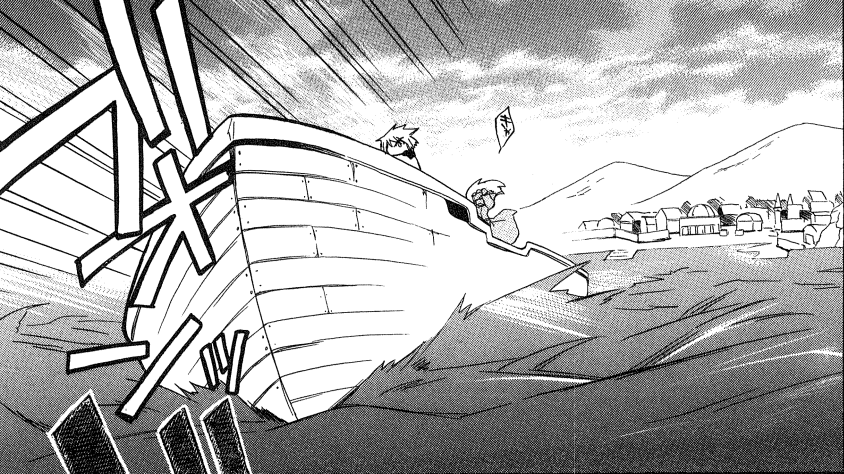
パァァァァァァ
ポ
ポ
ポ
すぅ…
……
ほ…

髪が――光った!?
み…
見つけたぞ!!
煌髪人だ!!
捕まえろ!

!!!
こいつっ
!?
ちっ
ー!

くそっ
！
お兄…ちゃん
よかった…
気がついた
シャーリィ
ごめん
これから
海に出るぞ
え？
少しの間…
我慢してくれ！

カッシェル様
小型船が1艘
なくなっている
模様です
小型船？
持ち主はこの街の
マリントルーパーと
いう話です

魔物の襲撃中
でしたので出撃中に
やられたのかも
しれませんが…
マリントルーパーか

バカだな…
みすみす
逃すなど

ここのに一人爪術士がいると聞いたな

……

街の人間からも情報を集めろ将軍閣下にご報告だ

残りは小型船の行方を追え

そういえば

来てるんだったなこのあたりに

クク…

もしかしたらおもしろいものが見れるかもしれんぞ

ゴオオオオォォォ
くそっ
こんな小さな船で沖に出るなんて…無謀だったか!?
お兄ちゃん!
シャーリィは中に入ってるんだ!
一人で舵を取るなんて無茶だよ!
わたしも何か…

!!!
ザザッ
ガクン
きゃあああああ
シャーリィ!!

ザバーンッ
……！
くそっ
……!?
急に暗く……
お兄ちゃん…
あれ…

ゴゴゴゴ

ゴゴゴゴ

ザザァァアアアッ
大…陸が…
動い…
ザンッ
ドッ
!!!
シャーリィ!!!

オオオオオオ
なんだ…？
あれは…
ほんまに
来よるとは
のう…
言い伝えどおりなら
儲けもんじゃ！
のうギート！

パアアアアアアアアアアッ
すっげ～～っ!!!
やっぱこの船普通じゃないって!
あの光は…
まさか!

ゴボゴボッ
ゴボ
なんだろう…
この光…

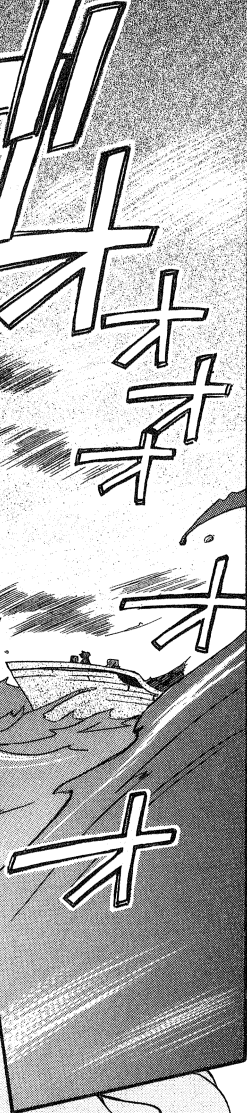
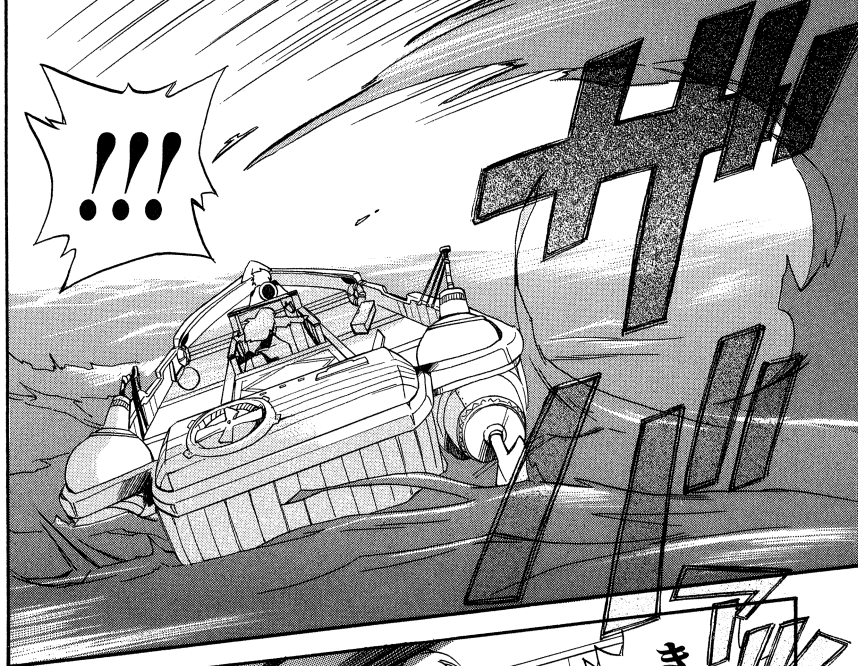
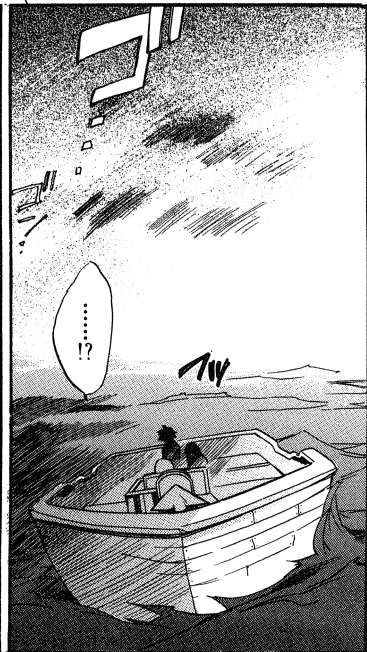
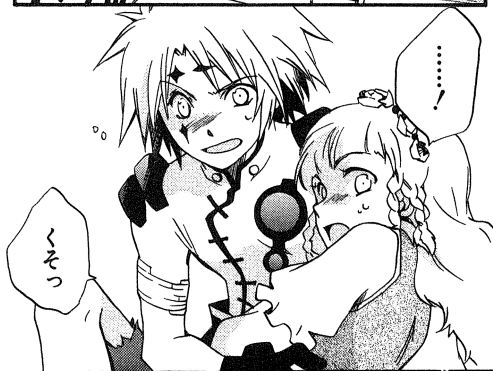
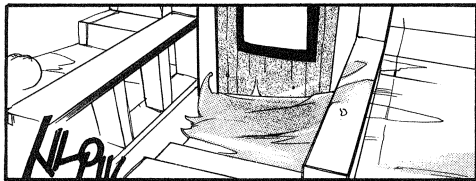
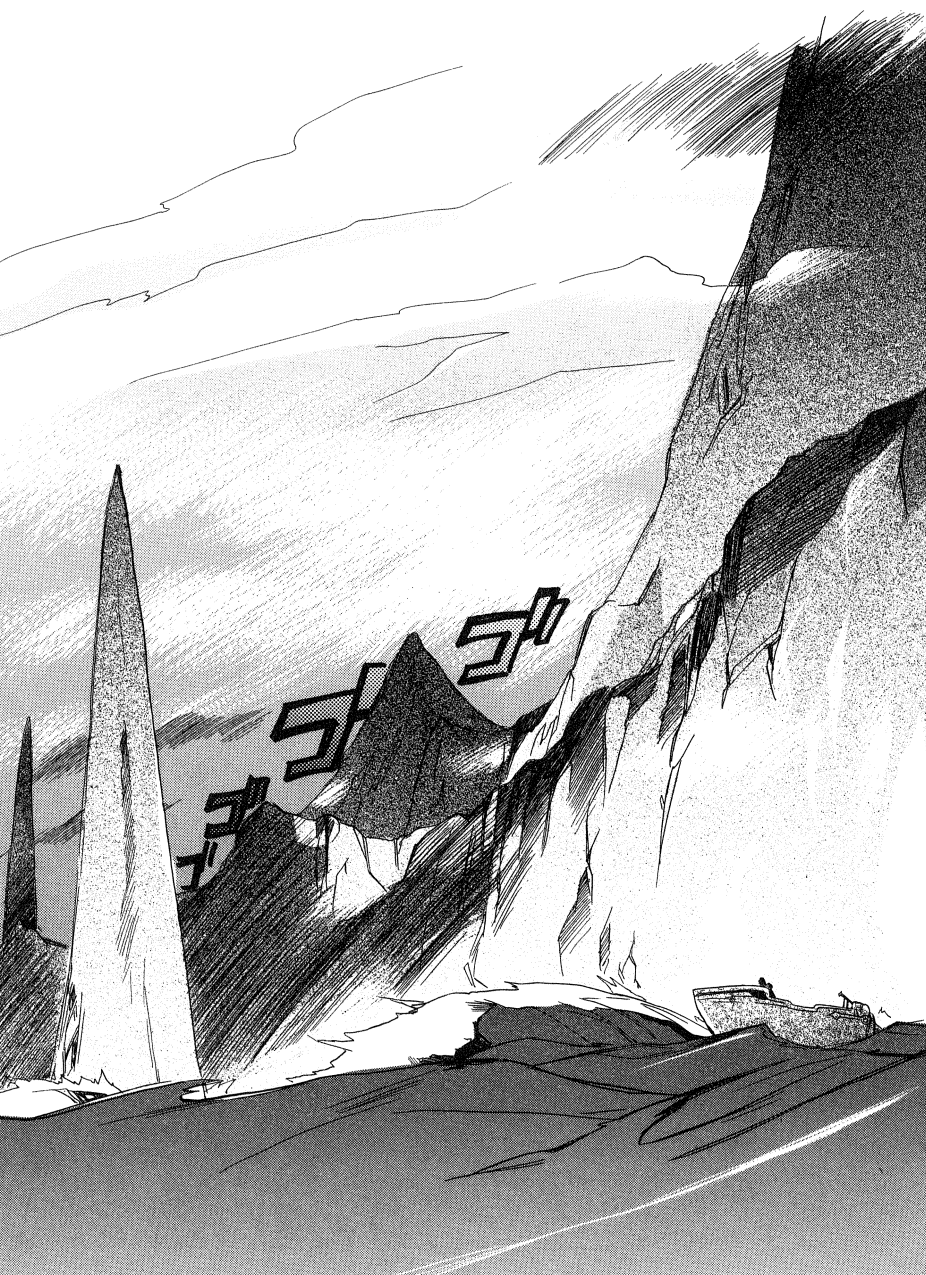
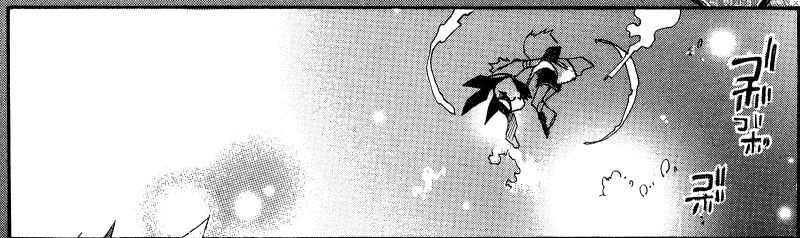
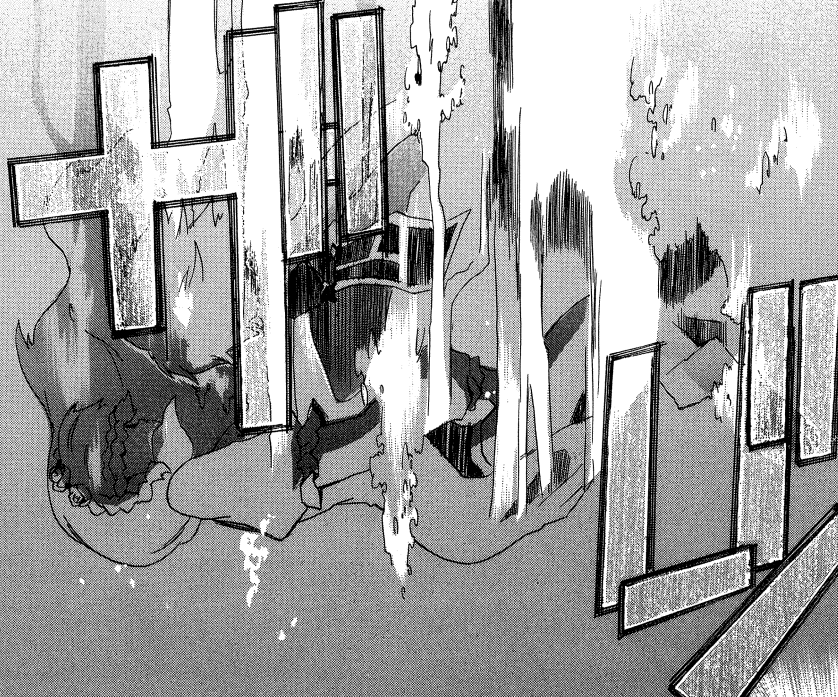
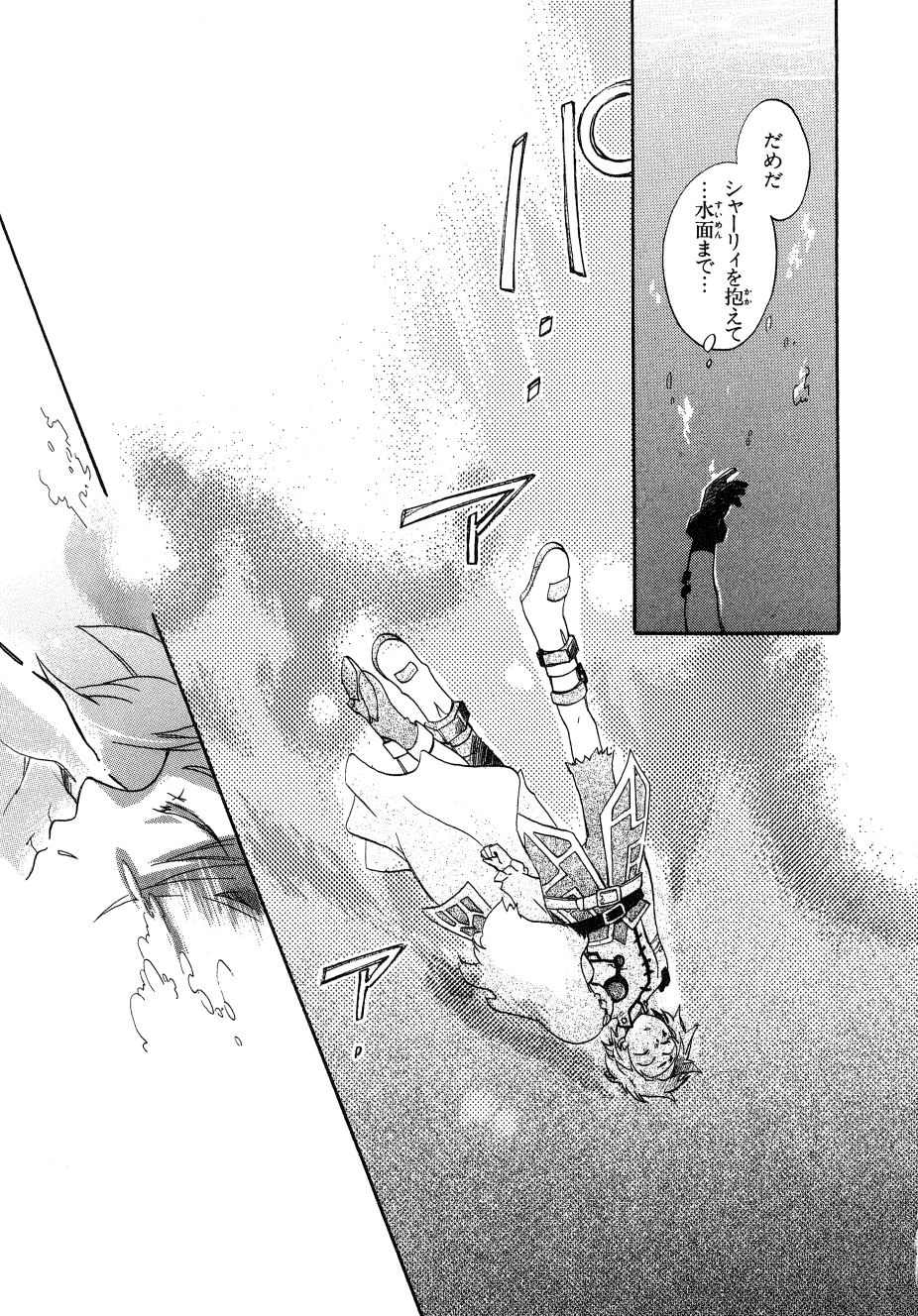
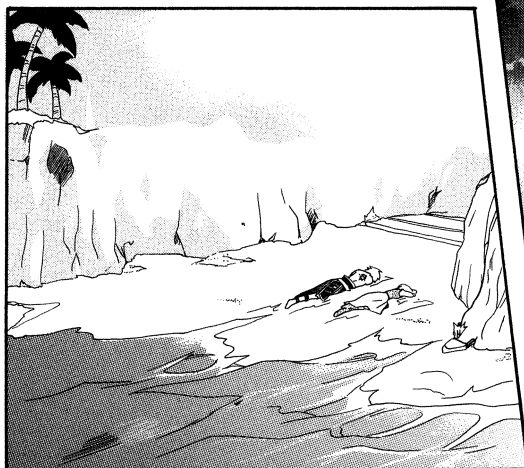
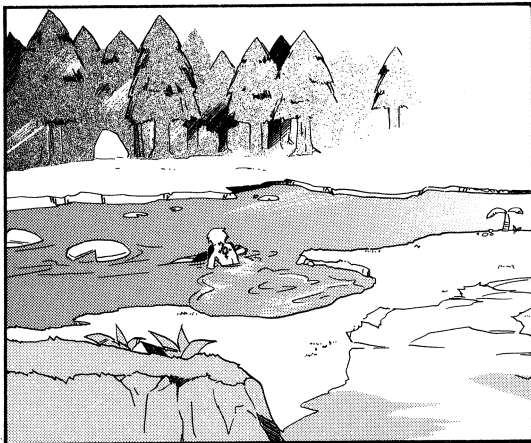
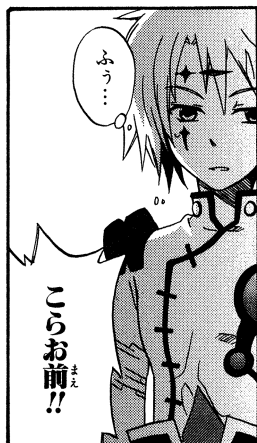
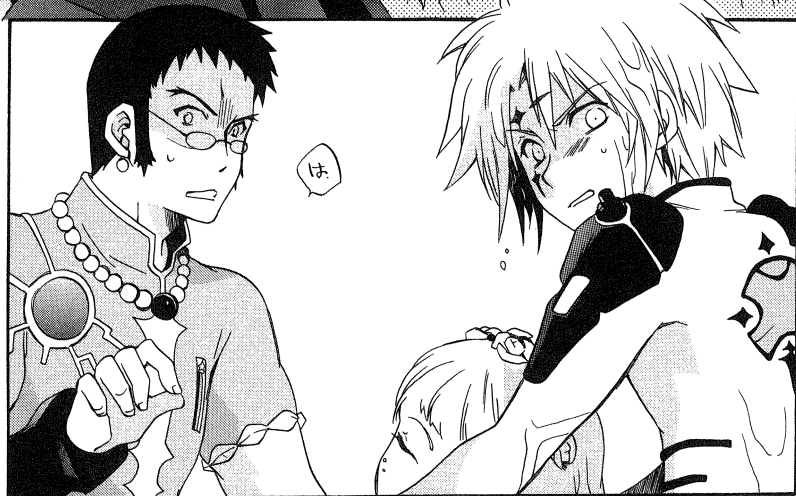
だめだ
シャーリィを抱えて
…水面まで…
パ
ア
ア

ザザ…ァ
はっ
生き…てる
…ここは?
シャーリィ?
ううっ
はっ
シャーリィ!!
……っ
大変だ…

どうした？
何かあったのか!?
…！
助かった!!
この近くに真水のあるところはないか!?
何？
川とか池とかなんでもいい！
泉ならばそこを上がればすぐだが…
！
すまない！
あっ…おい!?
ダッ

ふう…
こらお前!!

何をしている!?
!さっきの…
落ち着けよ
…問題ない
落ち着くのはお前だ!
!!
バカ!
出すなよ
水に沈めるなんて
いったい何を
考えて――…
うう…

何を考えているお前たち!!
不埒な輩どもめ!
すぐにその人を放せ!!
は

少女に対する野蛮な行為
騎士として見過ごすわけにはいかない！
チャッ
次から次へとなんなんだいったい!!
覚悟!!!

Chapter.2 遺跡船（いせきせん）

野蛮な輩め！覚悟！
なんなんだよ…
ぽしゃ

!!?
ずぼっ
ぼっちゃん!!
きゃああああっ!!
……
ちょっ…がぼっ
何っ…
ぐっ…
こっこらあっ
お前たち!
見てないで
助け…
がはっ

はぁ〜〜〜っ
はぁ〜〜〜っ

ひっ 卑怯だぞ！
こちら側だけ
深いなんて
聞いていないない!!
浅
深
言ってない
からな

どいつも
こいつも！
人の話を聞け！
シャーリィは…

!

パアル…

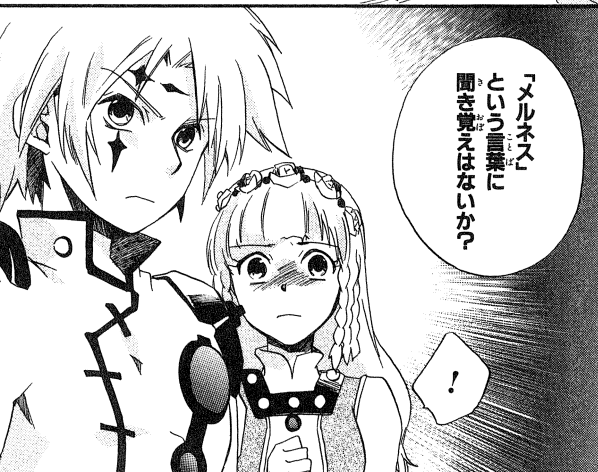
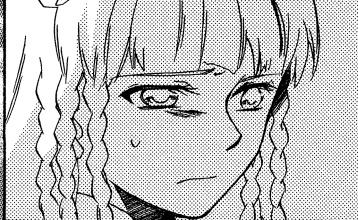
パ

ちょっ…
これは…！
……じろじろ見るな
お…お兄…ちゃん？
あ…兄？
だから話を聞けと言っただろこの無鉄砲女
むてっ…誰がだ！

海水を浴びると体調を崩し真水に漬かると回復するだと…？
そんな病気は初めて聞くな
病気というか体質なんですきっと…
ふむ
いや勘違いしたことは謝らせてもらおう
名乗り遅れたなオレの名はウィル…ウィル・レイナード
面目ない…
そしてあちらがクロエ・ヴァレンス嬢だ
！
なぜ私の名を？
君の正義の味方ぶりは有名だからな

困ってる人を
助けること
非道な行為を
見過ごさぬことは
騎士として
当然の勤めだ
勘違いして
剣を向けたあげく
自滅するのがか？
うっ
うう…うるさい!!
お前たちの
名は？
……
セネル・クーリッジだ
こっちは
シャーリィ
ここはいったい
どこなんだ？
なんだお前たち
迷子か？
迷子というより
遭難してきた
遭難!?
航海の途中で
船が転覆して
しまって…
……
よく無事
だったな…

遺跡船…
オレたちが今いるのは古代文明の遺産である巨大船だ
遺跡船…!

ふ…船…？
これが…？
セネル
シャーリィ
「メルネス」という言葉に聞き覚えはないか？
！

知らないな

遺跡船のことを何も知らないようだな

とは言えこの船が発見されたのはつい15年前

あまりにも多くの謎に包まれほとんど何も解明されてないに等しいが…

かつてこの船を治めていたのが「メルネス」と呼ばれる地位の人間だったということが判明しているのだ

光の柱立ち上りし時
「メルネス」は再び蘇らん

私もその光を見てこちらにやってきた

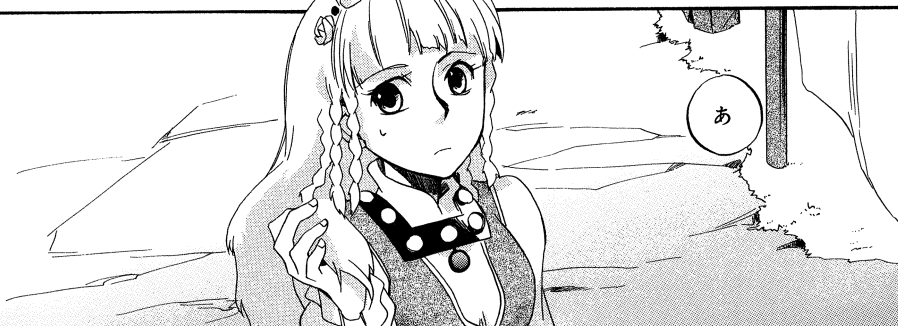
光…

言い伝えでもこの船にいる者の常識だ

光の柱の発生時期に遺跡船に上船した者がまず疑われるだろう…目立たぬようにすべきだな

なんでだよ！俺たちには関係ないだろ！

灯台の街ウェルテスだ
遺跡船に魅入られた学者やトレジャーハンターが興した街でなかなかの活気だろう
ここが船の上なんて信じられないな
街まであるんですね…

…で。
なんで無鉄砲女までついてくるんだ
クロエだ！

これなんか
いいんじゃ
ないか？
うんうん
かわいいじゃ
ないか
ああそうか
髪を隠さねば
ならないん
だったな
……
どうした？
こういう
所
初めてで…

？
服屋がか？
はい
いつもお兄ちゃんが
買ってきて
くれるんです
は――…
あの男が…
あっ
わたしが外に
出られないから
髪飾りは
ないほうがいい
んじゃないか？
被るのに
あ
いえ
これは…
…長い…
入ったばっかり
ではないか
彼女はいつも
髪を隠して
いるのか？
……
…
質問を
変えようか

遭難してきたというのは本当なのか?

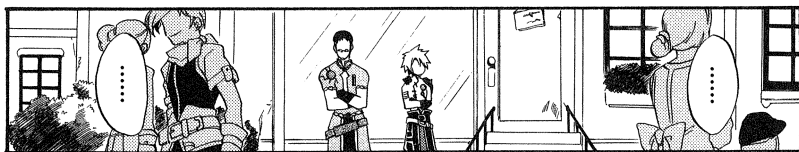
嘘ついてどうするんだよ

ほかの乗客はどうした? どこへ行くつもりだったのだ?

どうだっていいだろ!

……追われて…るんだ

行くアテはなかった… 俺とシャーリィだけで

シャーリィは

メルネスについては本当に何も知らないのか?

光の柱のことだけじゃない

さっきは言わなかったが

メルネスは光り輝く髪を持ち水中でも呼吸をすることができると言われている

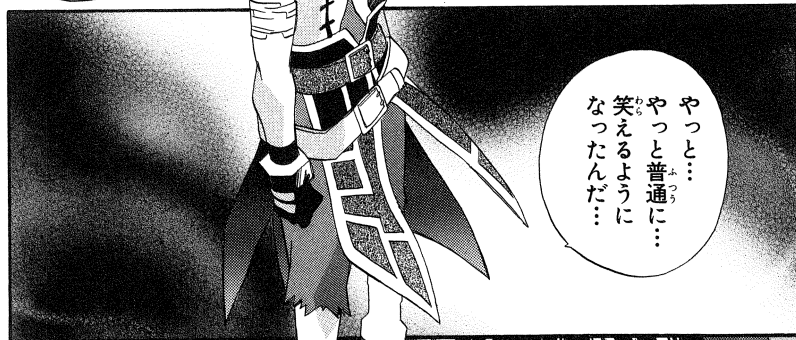
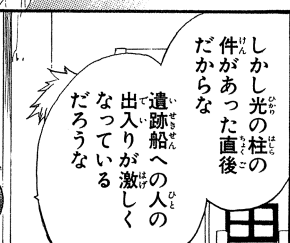
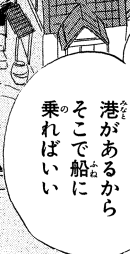
オレもただの言い伝えだと思っていたが…あの少女は——

お前みたいな
メルネスのことばかり
考えてるやつらに
追われてるんだよ！
シャーリィは…
関係ない
シャーリィの前で
メルネスの話は
しないでくれ
やっと…
やっと普通に…
笑えるように
なったんだ…
待たせたな！
ガラッ

……
何か…あったのか？
この船から出る方法はないのか？
簡単だ
港があるからそこで船に乗ればいい
しかし光の柱の件があった直後だからな
遺跡船への人の出入りが激しくなっているだろうな
レイナードはここに長いのか？いろいろ詳しいんだな
一応ウェルテスの保安官なのでな
保安官!?

本業は博物学者だ！
…とそんなことより港の様子を調べてこよう
保安官で学者…？
少しの間待っていろ

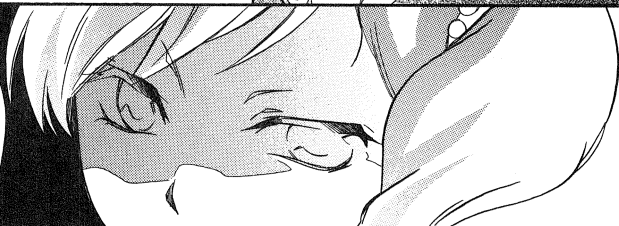
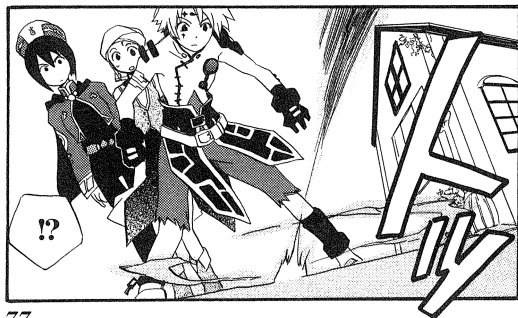
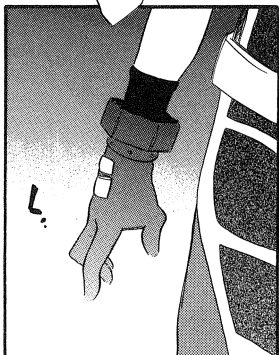
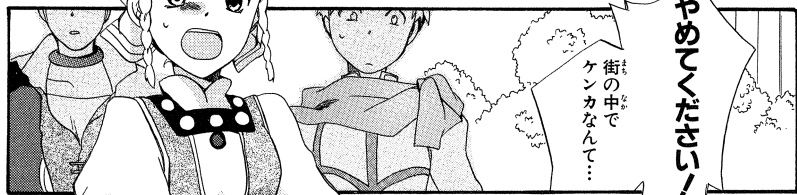
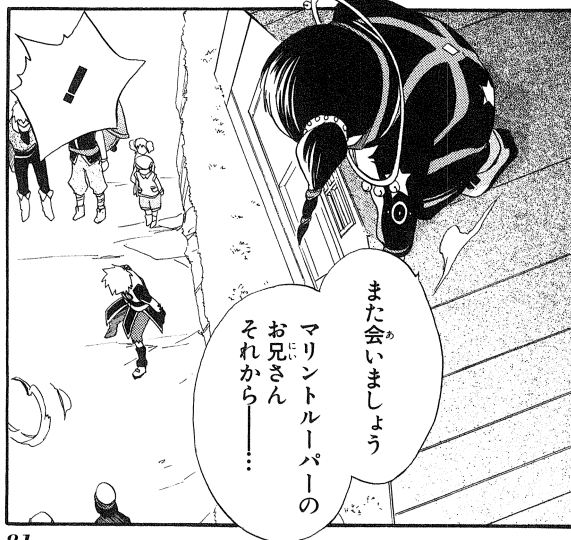
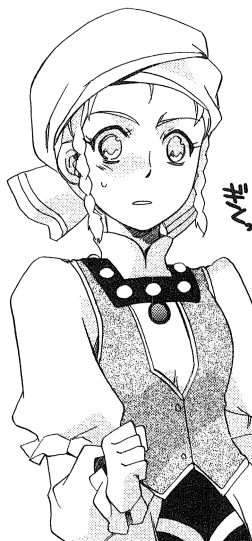
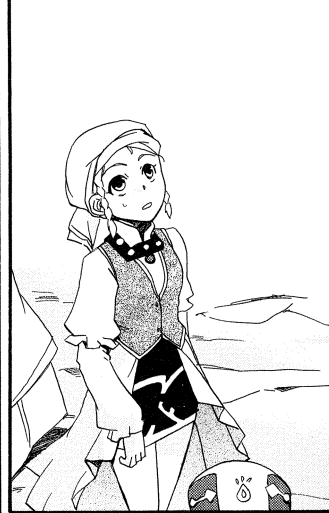
保安官が助けてくれるのなら安心だな
フン

大丈夫だシャーリィ
すぐに出られるさ
うん…

やあ
お兄さん

見かけない顔ですね
…この街は
初めてですか?

チリン

そうだ
悪いか

やだなぁ
そんな怖い顔
しないでくださいよ
ふむふむ
その顔のペイントは
マリントルーパーかな？
しかし珍しいですね
港からではなく
泉のほうからやって
くる人なんて
初めて見ましたよ
こいつ…っ
ドッ
!?

へーえ
爪術士かあ
アーツ系かな？
考えるより先に
手が出そうな
顔してるし
!?
ぶっ
なんだと!?
やめろ
クーリッジ！
じつはぼくも
爪術士
なんですよ
……!!

お互いの得意なことが重なるのって気になりますよね？

ブァッ
ビュ
この っ…
おい誰か止めろよ
ざわざわっ
無茶言うなよ二人とも爪術士だぜ
保安官は？
へえ強いな
スタッ
やめてください！
街の中でケンカなんて…

ぎく
なんの騒ぎだ!?
レイナード!
おっと
そろそろ引き上げたほうがよさそうですね
!
!
おいっ
!
また会いましょう
マリントルーパーのお兄さん
それから———…

待て！
お前…何者――
セネル！お前というやつは…
あいつが絡んできただけだ！
あいつ…

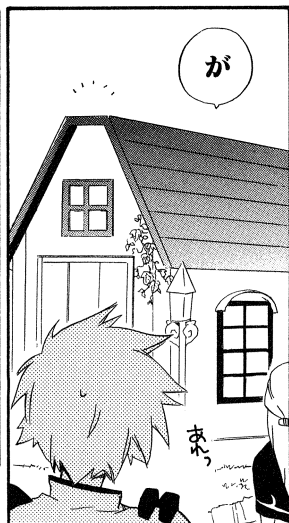
罰？
捕まえろ
ガシャーンッ

何するんだ
ここから
出せ!!

あの場から
離してやったんだ
感謝するんだな!

追われているんだろう!
あんなに目立って
どうするのだ!

あれは!
向こうが先に…

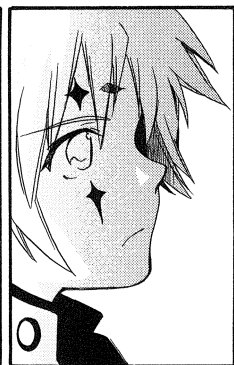
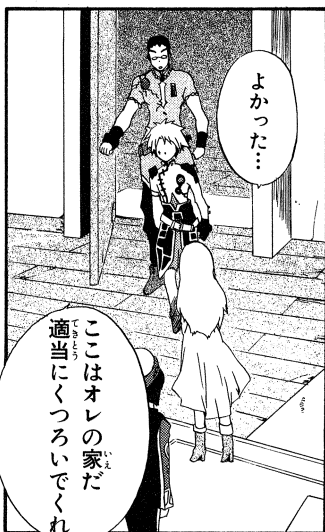
血の気の多い
やつだ…まるで
狂犬だな

オレは彼女の髪が
光り輝くのを見てから
メルネスのことばかり
考えていた
学者の性分
とはいえ
メルネスだと
疑われて今まで
大変なことも
多かったのだろう
そこまで考えが
まわらなかった
ことは…
どうか許してくれ
以後気をつけよう
事情は飲み込めんが
話したくないことが
あるならそれでいい
だが
力にならせて
くれないか

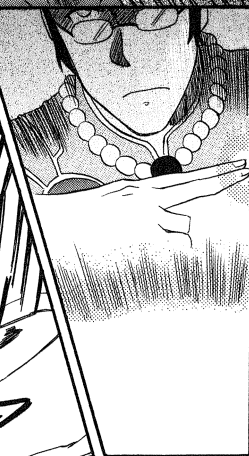
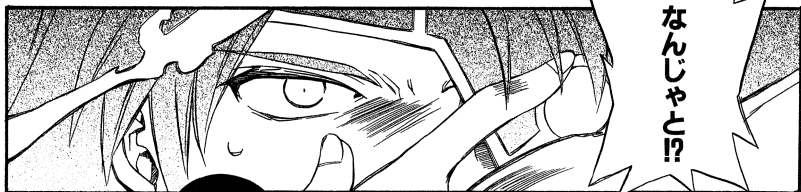
関係ないだろ…
お前も…あの女も
どうして――

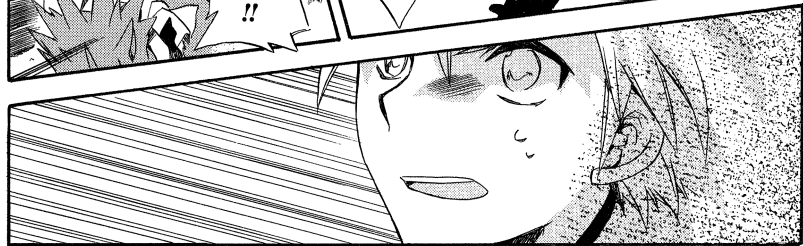
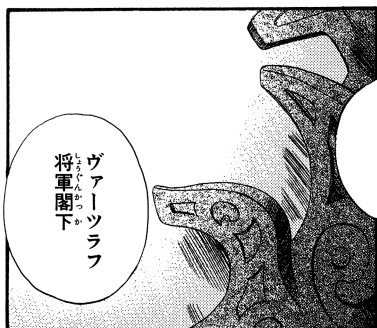
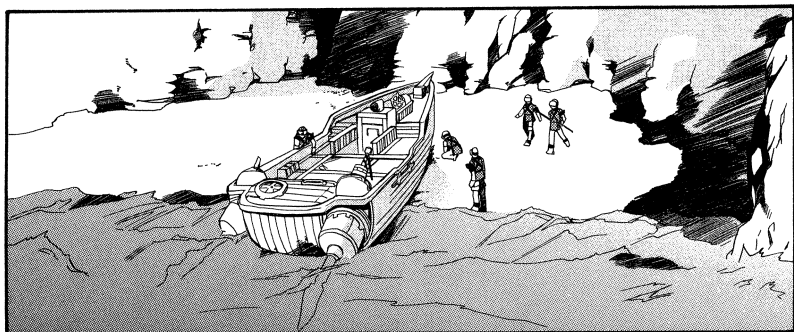
お前はともかく
一人の少女が追われ
ているとなれば
放っておけんからな
それに
オレは危なっかしいものは
目のつく場所に置いておかんと
落ち着かない性分
どういう
意味だ！

お兄ちゃん！

よかった…
ここはオレの家だ
適当にくつろいでくれ

ゴゴゴッ
自宅の地下に牢屋があるとはな
本当に目のつく場所に置いておくタイプなのか
すまんな 騒ぎに呼ばれたおかげで港の情報が…
!!!
街中だぞ!?
?

なるほど
嬢ちゃんが
メルネスかい
ジャッ
4人もおったんで
迷っとったとこじゃ
グランドガルフを
連れた眼帯の男…
モーゼスか!?
ククカ!
ワイも有名に
なったもんじゃ!
行くぞ
ギート!!
ガウッ

きゃああ！
シュッ
何？
！

なんじゃと!?
今度こそ悪党で間違いないな
山賊の頭だ思う存分やっていいぞ
家を破壊しない程度にな

爪術士…だったのか
ほおおワレらもかい！
しかもアーツ系とブレス系揃ってとはの！
も？
おもしろいわい！勝負じゃ！
ビッ
ヒュ
ガッ
ズァッ

ドドドドドドドッ!!
きゃあっ
ぐっ
ヒュ
きゃ…
シャーリィ!!?

なぁんての
メルネス以外に用はないんでの
!!!
シャーリィ!!

離せ!!
シャーリィ!
さらばじゃ!!
シャーリィー!!!

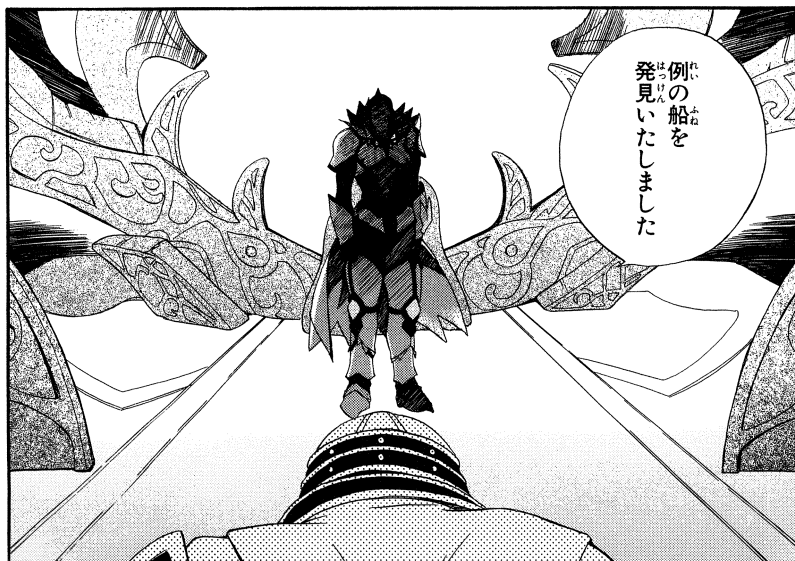
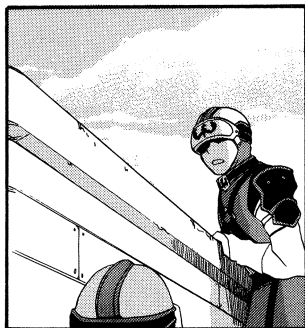
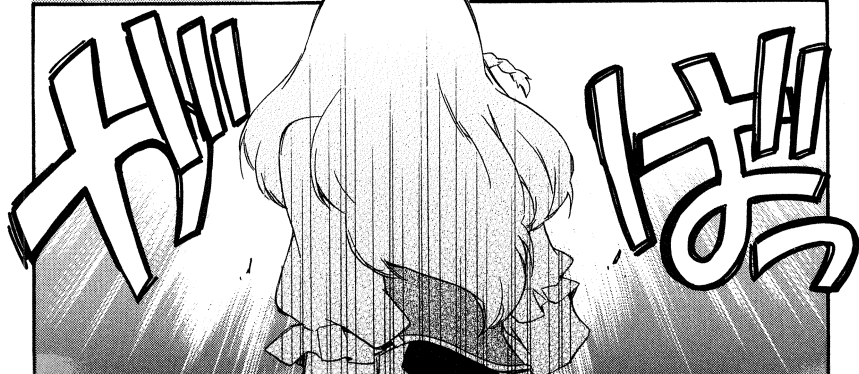
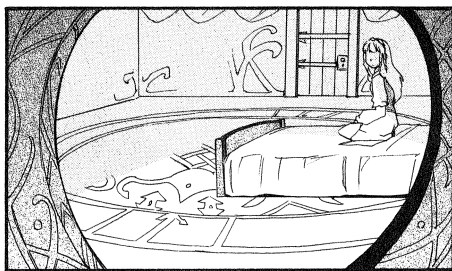
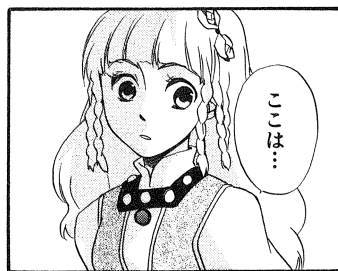
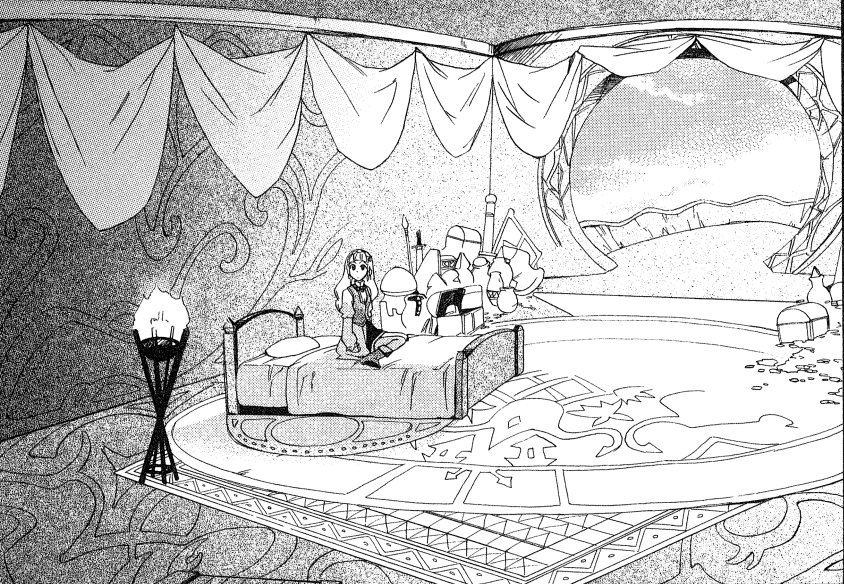
Chapter.3 遭遇

例の船を発見いたしました

は…そろそろ到着する頃かと

おいっ

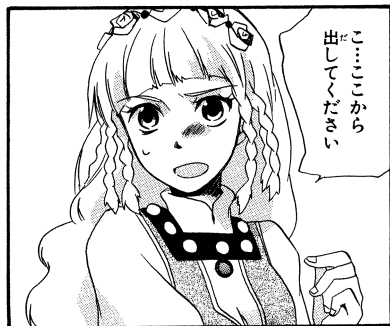
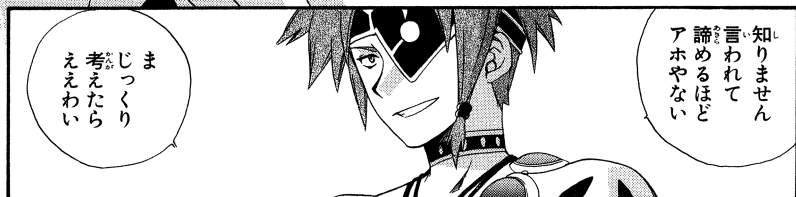
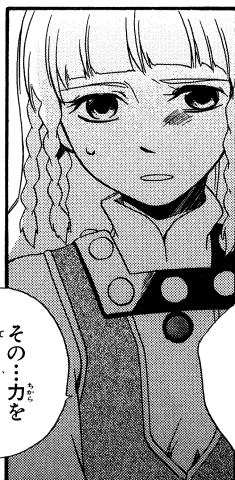
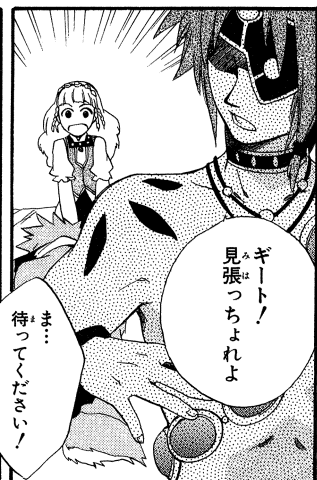
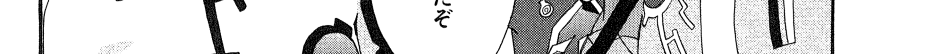
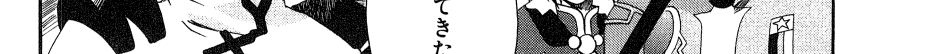
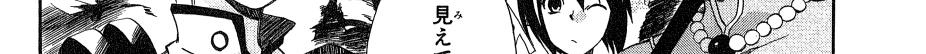
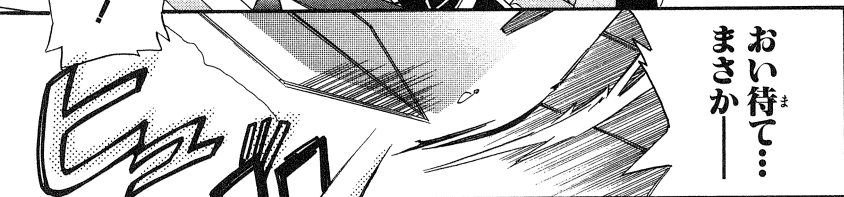
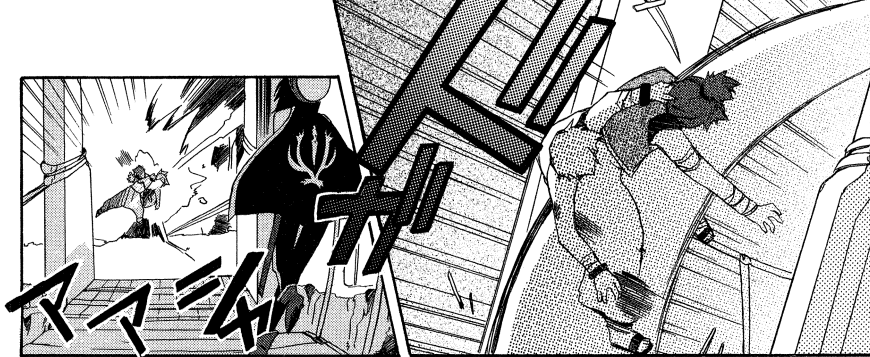
いったい
いつになったら
着くんだよ!?
その山賊の
アジトって
のに！
慌てるな
もうすぐだ

シャーリィを
さらったあいつ…
いったい何者
なんだ？

〝モーゼス・シャンドル〟札付きの山賊だ
1年ほど前から船内にアジトを構え行動している
まさかヤツもメルネスを狙っていたとはな
メルネスは船を治める人物…って言ってたよな
船を治めるってどういうことなんだ？
遺跡船を自由に動かすことができると言われている
この船を手に入れたい…とでも考えているのかもな

この船を
手に入れる…
あいつらも
それが目的
なのか…？
こんな船に…
いったいなんの意味が
あるっていうんだ
……
くそっ
ところで
ヴァレンス嬢
クロエでいい
クロエ
君はオレたちと
一緒に行動していても
構わないのか？
遺跡船にやって
きたということは
何か目的あっての
ことだろう
……
ああ…
ちょっとした
人捜しだ
急ぎの
旅じゃない

今はシャーリィを助けだすことのほうが先決だ
うん
なあクーリッ…
グズグズするなよ!
なっ
なんだあの態度は!
焦る気はわかるが無茶をしてもためにならんぞ!
セネル!
早く助けにいってやらないと…
約束したんだ…必ず…
シャーリィ
シャーリィ…!

大丈夫
必ず
私たちが必ず治してあげるから…
お…
ね…
はっ
ガバ
ばっ

ここは…
きゃあ!

お
よーしよーし目覚めよったか！
！
キィッ
噂じゃメルネスいうんは人間と違うちゅうことじゃったが
ふっ
ぽ
こうして見ると違いはわからんの
！

駄目じゃ！
出すんはワイの頼みを嬢ちゃんが聞いた後じゃな
頼み…？
ワイが遺跡船に来たんは〝聖爪術〟を自分のモンにするためじゃ
爪の輝きは七色に及びその威力は海をも押し返す
爪術の究極奥義聖爪術じゃ！

どこにあるんか教えてくれや！嬢ちゃん

噂じゃメルネスちゅうやつは遺跡船に滅法詳しいっちゅう話じゃ

！

知りません！聖爪術なんて…

知りません言われて諦めるほどアホやない

まじっくり考えたらええわい

ま…待ってください！

その…力を手に入れてどうするつもりなんですか？

家族を…
家族の絆を守るためじゃ！
見えてきたぞ

ヤツのアジトだ

……？おかしいな
このあたりから罠や見張りを立てていると思ったのだが
やけに静か――…

お…おい！
侵入者だ！

くそ…またかよ！
止めろ！
‼

いかん！戻──…
たいしたやつらじゃない！
れ？
私に任せろ！
おい待て…まさか──
たあっ!!

ドッ
ガッ
アアニャッ
パラッ…
ミシ…
ドキャッ
ふん
相手が悪かったな！
メキョ
も…
メキ
ボキ
もっ
バドッ

もっと考（かんが）えろーっ!!!

…っ…っ
パラ…
パラ
おい
おい
大丈夫か？
!!?

わ〜〜〜っ!?

なななな何をしている!!!

助けてやったんだろ!

剣まで向けるなよ

ぐわっ

俺が引っ張らなかったら岩に頭を打つところだったんだぞ

あ…

んぐっ!?
だっ
何するんだ!!
バカ者!
無鉄砲にもほどがある!
無事だったからよかったものの!

しかし…どのあたりに落ちてしまったんだ…？

怪我の功名というやつだな

落ちてきたことでずいぶん道のりが短縮されたようだ

アジトは目の前だぞ

…？誰にも気付かれてないのか？

あれだけ暴れたのだそんなはずは…

さっきの山賊…負傷していたようだったのが気になったが

様子がおかしい気がする
なんだろう
なんにもないか…
フラ…
だいじょうぶ
お兄ちゃんが助けにきてくれるから
きっと…

グル…
ドン…
！
きゃ…
ぎょっ
……
！
ぎゅ…

ぽすん…
グルグル
……食べようとしたんじゃ…ないよね？
ドキドキドキ
そ…
おっきい…
ナデナデ

遺跡船…不思議

なんだか懐かしい…
初めて来た場所なのに

ピク

ガばっ
きゃ…

ギート！
ガウッ
敵襲だ！
アニキの元へ！
敵…？
お兄ちゃん!?

あんたは…
アニキが連れてきた…
お願い！お兄ちゃんたちに酷いことしないでください！
兄？
これは…
先客がいると見て間違いないな
気をつけろよ二人とも

ワイの家族をやってくれたんはワレらじゃな

お前ら山賊ごときに名乗ると思うのかい？
フッ
おとなしくメルネスの娘を渡しな
ここにいるのはわかっている

雑魚に用はないんだよ！

後悔させちゃるわい!!

ドファァン
早く！シャーリィを助けないと…
落ち着け チャンスだぞ！騒ぎに乗じて裏からまわろう
タン

ドドドド
もう一人！
後ろ！
!!
ギャイイイーン

ギュッ
なんだ?こいつらは
余計なネズミが入り込んでるな
しまった…軍隊の仲間か?
ん?マリントルーパーだな?

殺しておくか

……足止めできればいい

じりっ

ザッ

急げ
速く！こっちだ
どうして逃がしてくれるんですか？
アニキが聞いたらきっとこうすると思ったのさ
?
チャバ…

!!
ッ
ッ
おい！しっかりしろ…！
……！
ちくしょう…
……

ギッ
!!
ドッ

くらくら
くそっ
!?
消え…

ドサァ
ぐあっ
クーリッジ！
!!?
よそ見をしている余裕はないぞ
ギィン
!
クロエ！
剣を引け!!

ぐおおおお…っ
キーン
今！
ヒュ
ザバッ
その…入れ墨…
お前――…まさか…！

Chapter.4 失ったもの

ゲホッ
ゲホッ
まずい…
まずいぞ…
その入れ墨…
お前…
まさか！

――・・・フンッ!!
!!
きゃあっ
クロエ!!
……!

なんということだ…
まったく歯が立たん
いかん…なんとかして逃げる方法を…

く…そ…っ

シャーリィ
あいつらの手に渡しちゃダメなんだ…絶対

俺が——
ぐぐ…

ぐっ
があっ
んん？気を失わなかったのか
誉めてやるぞ
しぶといヤツは嫌いじゃない

いたぶり甲斐があるからな！

ぐっ!?

この距離では…
術など唱えるスキが…
カッシェル
くだらんことに力を費やすな
我々は遊びにきたわけではない
ふん！前線を放り出してこんな場所までやってきたんだ
前線…？戦時中の…──まさか
もう少し楽しめると思ったんだがな
最近人を斬ってなくて気分が悪い

ガッ
!!!
セーー
ブワッ
メラニィ様(さま)!!
い…
いません！
メルネスの
娘(むすめ)が

どこにも！

はぁ
はぁ はぁ
はぁ

裏口を出たら
真っ直ぐ進むんだ

水晶の森に出る！
そこを通って逃げれば
きっと見つからない

あいつらあんたを
狙ってるんだ

急げ！

はあ
はあっ

怖い…

怖い

やっぱり
出てきちゃ
いけなかったんだ

ガクッ
!
ドッ
はあはあ
は…あっ
――っ
どうしよう
立てない…
ぽろ
ぽろ
はっ
どうしよう
シャーリィ

シャーリィ！大丈夫か!?
頑張って…走ろう
止まっちゃダメだ
シャーリィ
…シャーリィ
……
…ごめん

お兄ちゃん…
わたし…

いつまで逃げてればいいの…？

はっ
クロエ！
大丈夫か？
打ちどころが――
――…
あの男は…!?
あの男はどこだっ!?
剣士の――
運がよかった
…というべきか
俺たちどころではなくなったようだ
メルネスを捜しているということは
狙いはシャーリィか
なんということだ

クロエ？
どこへ行こうというのだ！

……っ

……レイナードの言うとおりだ
…わかった

う…
気がついたか

?
痛みが消えてる
回復の爪術は施したが まだ動かんほうがいい
どうやらシャーリィはアジトにはいないらしい
妙な動きはせずやつらが引くまでおとなしくしていよう

次は殺されると思ったほうがいい

くっそう
こんのアマ……！

メルネスを
どこへやった

カッカッカ！
名前も名乗れん
ような 礼儀の
なっちょらんやつに
教えてやる
義理はないのう

……
山賊風情が

がっ

アニキ！

！

ガシャ

どくん
軍…隊…？
どくん

ふん
メルネスが
いないんじゃ
話にならないね
もういいよ
山賊どもは
アジトごと
焼き払って
しまえ！
なっ
なんじゃとっ⁉
‼
待って！

待ってください！
シャー……

あんた…どうして…
やめて…もう
こんな酷いことはやめてください！
あなたたちの目的はメルネス…なんでしょう!?
わたし…
わたしが…メルネスです！

――待てや嬢ちゃん
やつらの目的がなんじゃろうがもう関係ないいんじゃ
こがぁに好き勝手やられて黙っちょるワイらやな……

ずいぃ
何言ってるんですか！傷だらけじゃないですか！
ズキィ
いいいっ!?
わ…わたし…逃げません！…から…！

シャ――…
待てセネル！
今出ていっても何もできん！
待てるか離せ!!
少しでも兵たちの足止めができれば…オレの術でなんとか――

逃げられんと判断してか
薄汚い山賊どもを庇ってのことか

さんざん手こずらせてくれたな

!!

ヴァーツラフだと!?
クルザンド王統国の第3王子じゃないか！何故こんなところに…

あんた！なんで戻ってきたんだ！

はっは！後者か！
他人を助けるためとはさすが行動がよく似ている！

？
に…似てる…って
誰に…

貴様の…

姉だ

ヴァーツラフッ!!!

どぱあっ
ガッ
ヴァーツラフ…
お前だけは！
おっ

お兄ちゃん！
!?
なんだ
こいつは
邪魔だ
このっ

ザザ
!!
く…
ばっ

クーリッジ!

なっ 何を考えているんだあいつは!
考えなしもいいところ…っ!
……!

お———…!

シャーリィ!
こいつら3年前 村を襲ったのと同じ連中だ!
逃げろ!

絶対…捕まったら…ダメだ…

ほう…3年前の事件を知っているとは…もしやあの時メルネスを逃がしたのは貴様か?

先日の件でもこいつがメルネスを連れて逃げ出したと思われます
始末しておいたほうがよろしいかと
やめて!

わたし…あなたたちの言うことを聞きます!
…お願い!お兄ちゃんは…助けてください
お願い…

フ…王に対して強談に及ぶとは
なかなか度胸のある娘だ
褒美をやろう

いやあああああっ!
む?
!!

こんのやろうっ
ドワッ
今だ!!
きゃ…
パキイイ
!!
サァーァア
パキイ
ゲツ
武器が…
パキパキ
うっ

シャーリィ！
来い
セネル！
逃げるんだ！
――っ
邪魔するな
どおりゃああっ

!!

ワァァァ

ち
逃がしたか
メルネスは捕獲しました
これ以上の長居は無用かと
くっくっく…
ついに手に入れたぞ

メルネス！

はぁ はぁ
ここまで来れば…
追ってきてはいないみたいだな
はぁ

……っ
く…そ!

なんとか!
なんとかならないのかウィル!

な…なんだよ!
何をボーっとしてるんだ早く…

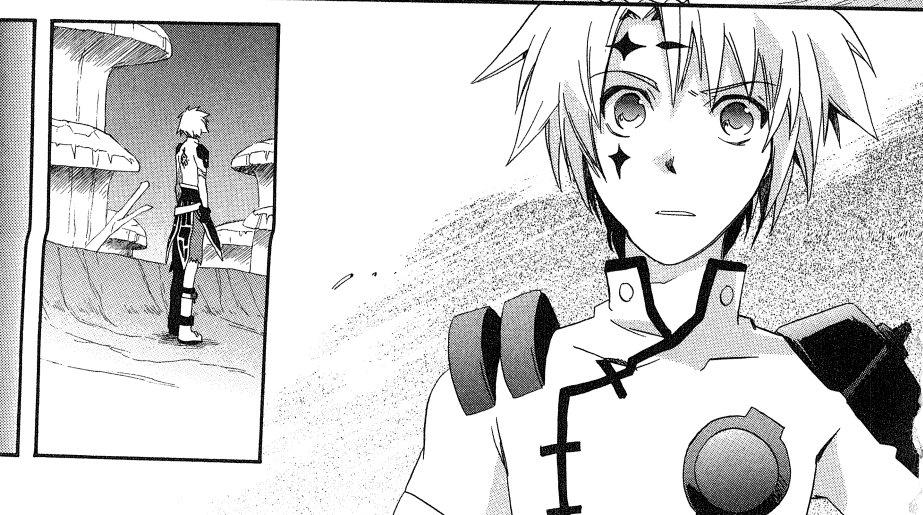
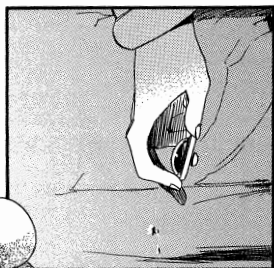
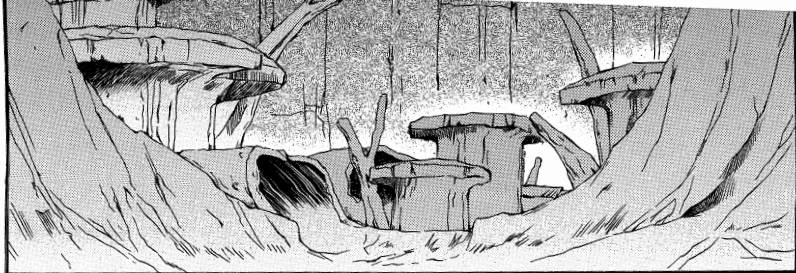
セネル

お前はついてくるな

……
は…

お前は感情的に行動しすぎる
お前と一緒では助けられるものも助けられんだろう
足手まといだ
──なっ
ふざけるな！ついてくるなだって⁉
お前らが勝手についてきたんじゃないか！
お前っ…

都合のいい時だけ
なんとかならないのかと泣きつかれても困る
泣きついてなんか…
お前のせいでシャーリィはあいつらの手に渡ったも同然だ
違うか
…行くぞクロエ
ひとでなし

初出・月刊Comic REX平成18年1月号〜4月号

すぺしゃるサンクス。
☆Kさん
M.キッサンさん
なつきさん
ようみこさん
応援して下さってる方々♥♥
「テイルズ オブ レジェンディア」1巻を
お手に取っていただきありがとう
ございます!!
いろんな方々に支えられながら
がんばらせていただいてます。
2巻でまたお会いしましょう★
あきもと あきみ

# テイルズ オブ レジェンディア❶

著者　藤村あゆみ
原作　株式会社バンダイナムコゲームス

2006年7月1日　初版発行

発 行 者　杉野庸介

担当編集　丸山章司

発 行 所　株式会社一迅社
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-5-10　成信ビル8F
電話　03-5312-6133(編集)
電話　03-5312-6150(営業)

印刷·製本　共同印刷株式会社

装　　幀　WANNABIES



ISBN4-7580-6004-5



IDコミックス

9784758060042

ISBN4-7580-6004-5

C9979 ¥552E

雑誌 50634-86

定価：本体552円＋税

一迅社

1929979005528

運命の導きにより古代技術によって作られた「遺跡船」に漂着したセネルとシャーリィの兄妹は、そこでかけがえのない仲間に出会い、そして世界の成り立ちと自分たちの進むべき道を知る。出会いと絆〈キズナ〉が紡ぐ運命の物語が、今始まる——。大人気RPG、堂々コミック化!!